



人類に
奉仕する
ロータリー



John

ジョン・ジャーム
2016-17年度国際ロータリー会長

No.10

Takasago Rotary Club

週報

高砂

クラブ会長方針

“素晴らしい仲間を持つ”

- ① ロータリーは親睦から
- ② 利他の心を持つ
- ③ フィロソフィを持つ

例会記録 (2016. 9. 9 (金)) 通算3,094回

◆開会

◆唱歌 ロータリーソング「我らの生業」

◆「四つのテスト」唱和

◆ゲスト紹介 伊藤朋子様 (大学教授)

◆歓迎歌「松の緑」



◆プログラム予定

9月11日 (日)	9月23日 (金)	9月30日 (金)	10月7日 (金)
移動例会 (16日分) 家族移動例会 サーカス「トーテム」 鑑賞	休会 (定款第6条第1節(C)による)	卓話 「新庁舎建設について」 森 裕史参事 (高砂市企画総務部)	卓話「伊能忠敬」 高塚 洋様

◆退会のあいさつ

堤 哲雄会員



◆出席報告

本日	9月9日	会員数38名	出席者27名	出席率	87.09%
前々回	8月26日	会員数39名	修正出席者39名	出席率	100.00%修正

◆MAKE-UP

本庄 幸保会員	e-CLUB	9月7日(9月11日)
丸山 恵右会員	e-CLUB	9月1日(9月2日)
脇谷 政孝会員	危機管理セミナー	2月11日(9月2日)
増田 章吾会員	e-CLUB	9月5日(9月2日)

◆S. A. A. (ニコニコ箱報告)

中野 哲郎会長……伊藤先生、本日の卓話、ありがとうございます。

森本 幸吉会員・谷川こずえ会員・増田 章吾会員

……伊藤朋子先生のご来訪、心よりお喜び申し上げます。今日の卓話よろしくお願ひします。

山本 広志会員……出席100%祝(27年)を頂きありがとうございます。

中山 英之会員……結婚記念日祝を頂きありがとうございます。

森本 幸吉会員……誕生日祝を頂きありがとうございます。

早退1名

◆幹事報告(3,094回)

〈国際ロータリー日本事務局より〉

◎『最新のR I 定款・細則、クラブ定款・細則の入手可能』が届いております。

◎地区補助金プロジェクト見学訪問のご案内が届いております。

尼崎中ロータリークラブ

〈ガバナー事務所より〉

◎『地区史原稿について(ロータリークラブ紹介)』が届いております。

〈例会変更のお知らせ〉

◎高砂青松RC 10月12日(水) → 休会

◎加古川平成RC 10月5日(水) → 10月6日(木)に変更

〈その他〉

◎一般社団法人高砂青年会議所より

『市内6クラブ会長幹事会開催日程調整について』

『市内6クラブゴルフコンペ開催日程調整について』が届いております。

◎東播磨流域文化協議会より

『平成28年度「ふるさとの“水の路”交流セミナー」のご案内』が届いております。

◎一般社団法人ロータリーの友事務所より

『「ロータリーの友」英語版“THE ROTARY-NO-TOMO”2016-17年度版11月中旬発行』のお知らせが届いております。

◎明石南RCより週報が届いております。

◆会長の時間

本日は、伊藤朋子先生に、「人間にとってなぜ教育が必要か」ということで卓話を頂きます。我々の会社でも教育は必要で、永続させるためにも技術的教育、倫理やマナー等の、差し詰めわが社のフィロソフィも教育であります。また、芸者さんが舞妓さんに教えているのは最高のOJTだと思います。だから永続できていると思います。ただ、わが社では、「教育」と言わずに「共育」と言っています。当社のフィロソフィ手帳の中にも「共育」についてのページがありますので、紹介します。



中野哲郎会長

○人財共育

強い企業経営を推進するためには、全社員が同じ方向を向き、ベクトルを合わせて誰にも負けない努力をすることが必要です。

そのためには、全社員の技術力や経営力を高める訓練を実施し、常に技術力や経営力を高いレベルで均一化することが大事です。

中野プランツには若い社員から、経験豊富なベテラン社員まで色々な人財がいますが、高い目標を掲げて挑戦していくと、誰もが多くの悩みや不安をもちがちになります。

その悩みや不安を、若い人は若い人同士、ベテランはベテラン同士で解消するのではなく、お互いに意見を出し合い、教育ではなく共育し合うのです。

学修は、人に教えて効果3倍だと言われます。上司先輩は部下後輩を教えることができる人格・技術を身につける努力をし、部下後輩は、教えてもらえる素直な人間性を身につける努力をし、お互いがど真剣に切磋琢磨して共育し合う道場こそ中野プランツなのです。

以上が、わが社の手帳に書いてある「共育」についての考え方です。この中に、「人に教えて効果3倍」という件があるのですが、確かに教えてもらうより、教える方が難しい

ですし教えているときに、気づきがあると思います。ゴルフを教えているときに「こう打てばいいんや」とよく思いつくことがあります。また、教えるための勉強も必要です。人間、一生勉強、修業が必要です。

◆本日のプログラム

卓話「人間にとってなぜ教育が必要か？」

伊藤朋子様（大学教授）

伊藤朋子（いとう ともこ）様

現在、甲南大学 文学部 教授／文学博士

専門は、教育哲学、教育史、教育方法学、教育課程論、道徳教育論。

神戸大学卒業、奈良女子大学大学院博士課程修了。

奈良女子大学、大和大学の教員を経て現職。

著書・論文に『ドルトン・プランにおける「自由」と「協同」の教育的構造』（風間書房）、『奈良女子大学百年史』（能登出版）、「新・教育課程シリーズ」第5巻『教育課程論』（一藝社）、『教育の原理』（法律文化社）、『教職の原理』第1巻「教育とは何か」（晃洋書房）『教職の原理』第2巻「教職とは何か」（晃洋書房）、「ドルトン・プランにおける J. デューイの影響－「自由」と「協同」の理論をめぐって－」（日本デューイ学会紀要 第45号）

など多数。



会長 中野 哲郎 幹事 豊田 克義
例会日時 毎週金曜日12時30分より
高砂ロータリークラブのホームページのURL

雑誌会報委員長 後藤 宗久
例会場 高砂商工会議所 2階会議室
http://www.winwin.ne.jp/~takasago_rc/